

入野小学校 校長室だより

2016. 2. 26(金) No. 39 文責：芝

日野原重明さんの言葉

2月17日に今年度最後の音読集会がありました。「トリ」を務めたのは6年生。日野原重明さんという方が97歳の時に書いた「君たちに伝えたいこと」を暗唱してくれました。暗唱も素晴らしかったのですが、内容にも心を動かされました。「寿命という私に与えられた時間を、少しでもほかの人のために使う人間になりたい」というご自身の生き方を、子どもたちに次のように語っています。

君が生まれたときに、君の周りにいた人たちがどんなに幸せに包まれたかを、君は想像したことがありますか。

小さな君が笑うたびに、きっと君のそばにいただれもが思わずにっこりとほほえみを返したことでしょう。君が体いっぱい泣いていけば、そばにいた人たちは、どんなに用事でいそがしくとも、その手を止めて、君のもとにかけ寄ったことでしょう。

そうやって君のお世話をすることが、そばにいた人たちにはときどきとてもつかれてしまうことであっても、そうすることはそばにいた人たちにとって、ほかの何ものでも味わうことのできない喜びでもあったのだと思いますよ。だから、どんなにいそがしくとも、つかれていても、小さな君のためなら、そばにいた人たちは精いっぱいつくしてくれたのです。

なぜ、そうやって君を世話することで喜びがわいてくるのか。そして、それがどんな喜びだったのか分かりますか。それは、自分の時間を純粹に君のために使っていたからこそ、わいてくる喜びだったのです。(抜粋)

単に文字面だけで「自分の時間を他の人のために使って喜びを得る」ということに触れると「ちょっと難しいなあ」と感じますが、日野原さんの文を読むと「確かに、そういう喜びはあるなあ」という思いになります。読んだ後は少しやさしくなれそうですね。

日野原重明さんは現在104歳のお医者さんとのこと。先日テレビに出演されていましたが、とてもお元気そうでした。(最近の録画だったらいいのですが…)

たくさんの立候補者から

先週の金曜日に児童会役員選挙がありました。各候補者、各推薦者の演説は、どれも熱のこもった内容でした。素晴らしかったです。

とても嬉しかったのは、5名の役員枠に対し、立候補者が17名もいたことです。児童会の役員になると「自分の時間を他の人のために使う」ことになります。他のみんなが遊んでいる時に役員としての仕事があつたりします。それは、当然みんなが知っているのですが、それでも17名の人が立候補してくれたことは入野小学校の大きな財産です。みんなで協力して入野小学校のより良い伝統を築く素地ができていていることを示しています。

新役員さんに一言。皆さんに一票を入れた人たちはもちろん、立候補した他の人たちの思いも皆さんが引き受けたこととなります。まず、5人がよく話し合い、協力して進めていってください。みんなで決めた学校の代表が皆さんです。堂々と仕事を進めてください。

当選しなかった人に一言。選挙のたびに言っていることですが、皆さんには「あなたに役員になってほしい」と思った人が何人もいます。別の言い方をすれば「当選した人よりも、あなたに役員になってほしい」と願った人が何人もいたこととなります。素晴らしいことですね。それを誇りと自信にしてほしいと思います。